

「男女共同参画社会」コーナー④

「男女共同参画」の \$tuffo\$とは

よく「男女共同参画行政は女のもの」と言われます。確かにかつて、担当する部署は主に女性を保護し、*1エンパワーメントする事業を行っていました。本来は女性にも男性にもメリツトがある社会を築くために必要な方法を整える責任があったのです。

先日私が読んだ、内閣府が発行している「共同参画」という冊子で、ウシオ電機株式会社の子尾治朗代表取締役会長がお話していた記事が興味深かったのでご紹介します。『ヨーロッパに比べるとアジアは長い間、男性優位の社会になってきたけれど、特に戦後は、男女平等という民主主義思想が入ってきて、タイ、韓国、中国というのは急ピッチに女性の地位が高まってきました。それは女性の能力があるからなのです。』

日本でも歴史的には、いわゆる民間の老舗の経理担当のトップ、近代風

に言う*2 CFO

FOという

のは、全部

おかみさん
です。料理屋さんで
も商家でも、
全部おかみ



さんがCFOなのです。

日本の企業の現場は典型的な男性社会です。こうした中で、(国連の指導や外国を意識して)急に女性の管理者を増やそうとしても、管理者として育てていないのですから、中途採用する特に、外資系では、能力に応じて重要な仕事を任せて一本立ちできるように訓練されています。優秀な女性は幾らでもいます。そういう人が日本の企業に転籍して偉くなっています。ですから、(日本の)女性に力がないから女性が管理者にならないという事実は全くないという事は断言していいのですよ。』

日本の企業なら、日本の女性にもっと期待してくれてもいいですよ。男性の持ち分を奪おう、男性の優遇されていた分を取り返そう、と女性は考えているのではなく、その立場に見合った能力をもっているのならば女性だってパートナーになりうる」ということを認めて欲しいだけです。同じ事は家庭でも言えるのではないのでしょうか。

事業主である夫が仕事上の情報を一人で抱え込んでいる場合、夫の身に何かトラブルが生じた場合、仕事があまくいかなくなつた場合、その家庭はとたんに現状を維持することが難しくなり、夫は大きな責任を一人で背負ってしまうのではないで

しょうか。妻にその能力があるのなら(実は、ちゃんとあるのです!)、パートナーとして仕事の情報を共有し、事業の展開と一緒に考えること(=参画)で夫の責任と負担は半減するのではないのでしょうか。異なった経験に基づく考えを合わせることで、確実に堅実そしてユニークな事業ができるはずですよ。

「今までと同じ」にしがみつかず、相手の意見に耳を傾けて新しい自分を創り出すこと、そんな勇氣も男女共同参画には必要だと思っています。

*1 エンパワーメント(本来持っている能力を引き出し、社会的な権限を与えること)

*2 CFO 最高財務責任者【執筆者】

COO/OAあもり代表 一條敦子

男女の区別と差別

つがる市男女共同参画推進委員 田中 誠

当たり前のことであるが、

男と女には一緒にできない側面がある。生理的な面からみても、男と女ではホルモンの出方が



違い、それが筋肉質の体型やふつくりした体型をつくりだす。子供を産めない男と産める女の違いもある。さらに気質や性格の違いも当然ある。この違いを

誰もが認めなければいけない。人間を男女の違いによって差別してはならない。人間として男女は平等で、男女に区別はあっても差別はあってはいけないのだ。

しかし、時代の様々な状況の中で、区別=差別の公式が長年通用し、多くのとりわけ女性の苦悩が長く続き、これを打ち砕くために様々な努力が積み重ねられてきたことが、日本の近代史そのものではなかったか。貝原益軒は「和訓童子訓」の中で、「婦人は三従の道に行くべきであり、まずは父に従い、次に夫に、そして、最後には子供に従え」と言っている。また、「婦人は、柔和で人に従うのを道とする。」とも言っている。

この考えが明治以降も支配的であった。そして、区別はあっても差別はあつてはいけないことへの実現に向け、多くの試練があり、克服への努力が積み重ねられてきた。女性の奮闘も目覚しかった。

景山英子や岸田俊子も活躍した明治における自由民権運動、樋口一葉や与謝野晶子らによる自由恋愛主義的文学活動、女性は太陽であったとし新しい女性を目指した青鞥社運動、津田梅子らによる女子教育の普及、女工哀史などを経ながらも女性の働く権利獲得のためになされた労働運動、そして職業婦人の誕生、女性の政治参加を求めての参政権運動等を経て、戦後やっと男女平等が権利として認めら

れたのであつた。

しかし、権利は平等だと言っても実態は必ずしもそうではない。いつの時代でも、どこかに必ず古い体質を残しているものである。

男と女が共に生きる上で、お互いの違いを認めながらも、お互いが助け合い補い合うことで、より充実した社会を目指していかなければならない。そのためには、男女共にその特性をフルに発揮していくことこそが、男女共同参画社会の精神であり、この精神を常識にまで深めていくことが、これからの私たちの課題ではあるまいか。

男女の違いを認めつつ、それらの奥底に人間としての普遍性をみることができると、そのことが何よりも大切なことであると私には思われるのである。



©アトリエくじら

ae つがる市 社協からののお知らせ

平成21年3月

つがる市社会福祉協議会 〒038-3138 つがる市木造若緑52番地
TEL:0173-42-4660 FAX:0173-42-4686 Eメール:tsugarushakyo@tea.ocn.ne.jp



会長就任あいさつ

このたび、1月21日付けをもって、つがる市社会福祉協議会長に、わたくし、福島弘芳が、引き続き就任いたしました。方針として、社会福祉協議会の使命である「一人一人が地域社会の中で安心して暮らせる町づくり」を目標に、地域福祉、介護保険事業を両輪とし、福祉を推進してまいります。

これを具体化するために、つがる市社会福祉協議会「地域福祉活動計画」を策定中でありますので、市民の皆様方には一層のご指導、ご支援をお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。



新役員紹介

つがる市社会福祉協議会理事・監事の任期満了に伴う改選があり、新役員が就任しました。

会長に福島弘芳氏、副会長に林嗣郎氏、成田清繁氏、鳴海忍氏、平川満昭氏が選任され、また会長より専務理事に平川賢司氏が指名されました。

役員定数

*理事15名、監事3名

*任期

平成21年1月21日～平成23年1月20日まで

前 列 左 か ら (敬 称 略)	理 事	副 会 長	副 会 長	会 長	副 会 長	副 会 長	理 事	後 列 左 か ら	理 事	監 事	監 事	監 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	専 務 理 事
	木 津 谷 昭 郎	平 川 満 昭	成 田 清 繁	福 島 弘 芳	林 嗣 郎	鳴 海 忍	佐 々 木 佐 吉		福 井 二 美	黒 滝 清 昭	澤 幸 悦	相 馬 浩 明	小 山 内 實	小 林 澄 雄	鈴 木 克 隆	田 中 透	盛 行 春	渡 辺 博 美	平 川 賢 司	

法律相談を開催しています

～個人では解決できない法律の問題や
家庭問題等お一人で悩んでいませんか～

〈毎月第2水曜日〉

期 日:平成21年4月8日(水)

時 間:午後1時から4時まで

場 所:社会福祉協議会本所 相談室

料 金:無料

※相談は予約が必要です。(TEL0173-42-4660)



寄 贈

1月28日、県立弘前高等技術専門学校つがる校同窓会(工藤裕次会長)より寄附金319,642円をいただきました。

本会ではこの寄付金でマッサージチェア3台を購入し、デイサービスセンターかっこうの館に設置しました。誠にありがとうございました。



そりっこ選手権



雪上すもう大会

北つがる地区療育キャンプ愛の輪広場「ゆぎんこの集い」が開催されました

北つがる地区在住の障がいのある方とその家族を対象に、1月31日から2月1日の1泊2日の日程で柏を会場に開催しました。

参加した人たちは、「そりっこ選手権」や「雪上すもう大会」「もちつき」など、雪で楽しく遊びながら、交流を深めていました。

また、食事作りボランティアの柏地区日赤奉仕団のカレーライスと豚汁が大好評でした。

ご協力ありがとうございました。

※このページは有料掲載になっています。

地球村冬物語

世界一長い75メートルの「バナナボート」完成

—ギネス記録に申請—



花火を打ち上げてフィナーレを飾りました



雨の中、世界一のバナナボートを完成させて喜ぶ参加者



よさこい知求群会によるヨサコイ演舞

また、会場内には多くの出店が軒を連ね、ムカデ競走、バルーンアート体験、雪上綱引きなどのイベントも行われました。

冬物語のフィナーレは、「よさこい知求群会」によるヨサコイ演舞。寒さを吹き飛ばす熱い踊りは観衆を魅了し、最後に花火を打ち上げて冬物語の幕を閉じました。

つがるの冬を満喫するイベント「地球村冬物語」が2月14日、つがる地球温泉「藤山邸」の駐車場で行われ、大勢の市民が訪れて賑わいました。

イベントの目玉は、巨大ロールケーキ「バナナボート」作り。昨年は長さ50メートルのバナナボートを完成させ、今回はギネスブックに記録を申請しようとして75メートルに挑戦。この日用意された材料はバナナ500本、つがる市産つがるロマンの米粉を使用したスポンジ生地250枚（75キロ）、生クリーム90キロ。

雨の降る中、約500人が訪れ、スタッフが台の上にスポンジ生地を敷き、参加者が生地の上に生クリームを塗ってバナナを乗せ、ラップごとくるんで完成。完成したバナナボートは、主催者の掛け声で胸の高さに持ち上げ、全員で世界一の達成を祝い、参加者全員に振る舞われました。

個性ある鬼の面を着ける園児とかみしも姿にふんした園児



鬼は外・福は内

2月3日の節分の日に柏第一保育所で豆まき集会が行われ、古くからの伝統行事を体験しました。

園児たちは色画用紙で作った個性豊かな鬼の面を着け、福の神にふんした「かみしも姿」の年長児4人も登場。

赤鬼と青鬼が現れるとあまりの迫力に泣き出す園児もいましたが、一斉に豆を投げつけて鬼退治をしました。

最後にみんなで「まめに暮らせませすように！」と祈りながら年の数だけ豆を食べました。